

事業報告書（令和3年度）

事業名 地域を活かす農業と食の安全

団体名 おかやまエコマインドネットワーク 担当者名 藤原 幸蔵

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）	
令和3年6月	岡輝公民館との打ち合わせ 共催いただけることが決定 新型コロナが見通せないが、2月なら可能かということで 2月13日日曜日に決定
令和3年6月	ワッカファーム佐々木様 フェアトレード岡山様 日程確認了解
令和3年9月	岡輝公民館連続講座「くらしの環境学」(9月30日)にて案内
令和3年10月	岡輝公民館広報誌11月号に案内掲載
令和3年12月	岡輝公民館広報誌1月号に案内掲載
令和3年12月	チラシ完成 近隣公民館、市立図書館、県立図書館、講師関係先などへ配布
令和4年1月	岡輝公民館連続講座「くらしの環境学」(1月13日)にて案内 地域清掃活動団体への呼びかけ(1月15日)
令和4年1月20日	時点で 26名申し込み スタッフ講師含め会場定員に達したため、募集締め切りと判断した。 令和4年1月21日より公民館使用不可となり、公民館での実施は困難と 判断し、岡輝公民館の隣のコミュニティハウスを仮押さえした。正式な 手続きは様子を見て2月にすることとした。
令和4年1月28日	事業の中止を最終的に判断
2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ	
岡輝公民館では「くらしの環境学」の講座を長く続けていて「食」についても関心が高く呼びかけに対応して下さった。ESDの考え方を自らの暮らしと結びつけて考える力を身に付けている方が多く、開催できていれば実りあるものになったと考える。	
3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）	
※事業内容がESDにどう貢献したか等を記入してください。 コロナ禍の影響により、事業は残念ながら実施できなかった。 フェアトレードに関して、集客のための手段として、当初、チョコバナナ作りをメインとしていたが、昨年度はコロナ禍のため、座学が主体となった。今年以降も同様になることが十分予想できるので、フェアトレード岡山様と実施内容について打ち合わせを実施し、フェアトレードを伝える場合、「共に生きる」という価値観と「おかげさま」という気持ちが大事であることがポイントであり、まさにESDであることを再認識できた。	
4. 今後の課題と展望	
1月27日からまん延防止等重点措置が適用されたにもかかわらず、2月7日にメールにより、申し込みがあった。もちろん、丁寧に中止となった旨は連絡した。本当に当該講座は、求められている内容を提供していることを再認識した。そのため、今回参加を希望くださった方とは、自主的な取り組みと、情報提供を考えている。	